

2013年3月期 第3四半期連結業績概要 2013年3月期 通期見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

2013年3月期 第3四半期連結業績概要



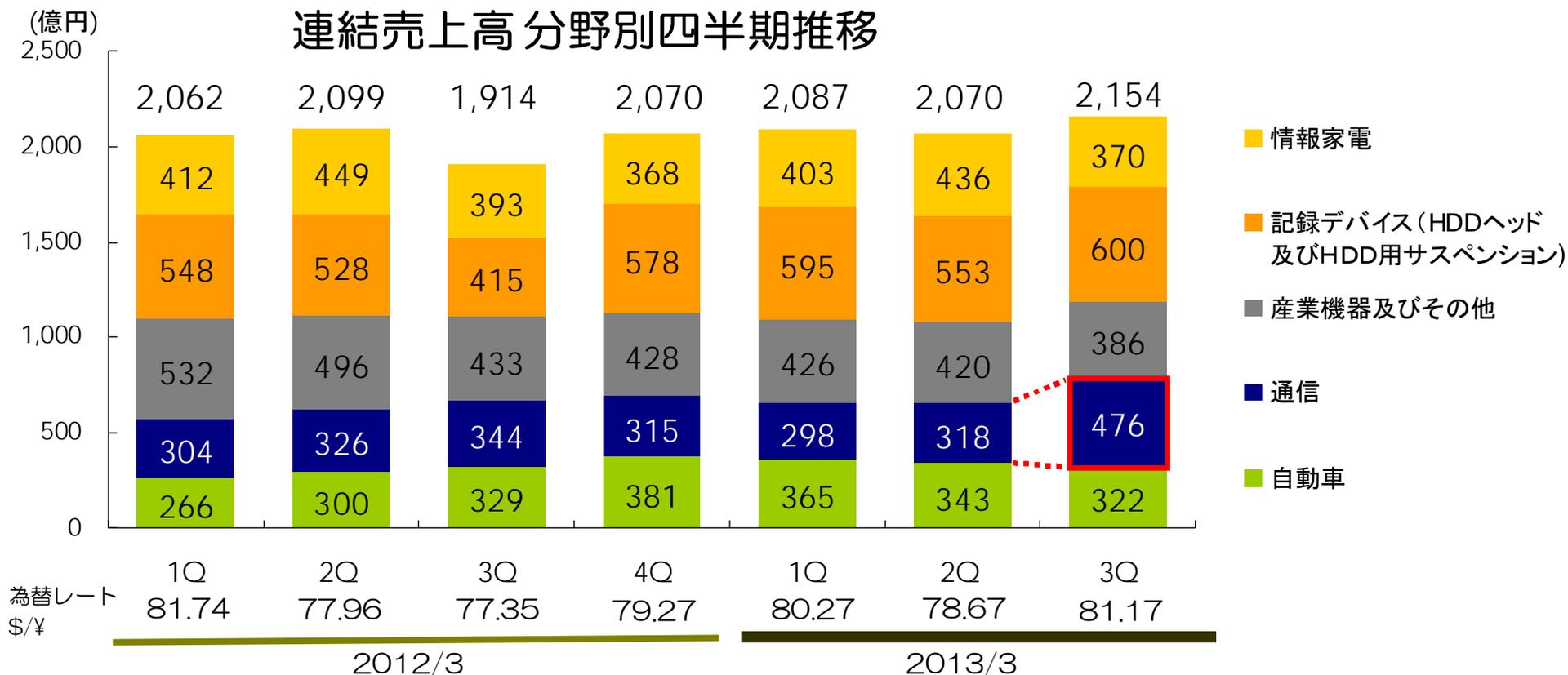
(億円)	2012年3月期 第3四半期累計実績 (2011.4.1~2011.12.31)	2013年3月期 第3四半期累計実績 (2012.4.1~2012.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	6,075	6,310	236	3.9
営業利益	219	255	36	16.4
営業利益率	3.6%	4.0%	0.4 pt	-
継続事業税引前利益	150	212	62	41.5
当期純利益	△ 49	101	151	-
1株当たり利益(円)	△38円15銭	80円59銭	-	-
為替	対ドルレート	79円1銭	80円3銭	1.3%の円安 7.7%の円高
	対ユーロレート	110円76銭	102円24銭	
為替変動による 影響金額		売上高：約25億円の増収 営業利益：約4億円の増益		

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期 第3四半期決算のポイント

- HDD市場は例年に比べ低調ながらも、HDDヘッドの販売は想定を上回って推移
- 通信市場向け販売は第2四半期比50%増加
 - ✓ 主に二次電池、高周波部品の販売が増加
- マグネットの販売が主に自動車市場向けに想定を大きく下回って推移

(マグネットは“その他磁気応用製品”に含まれます)



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期連結業績予想



事業環境の変化及び為替動向を踏まえて通期業績予想を修正

(億円)	業績見通し (10月31日時点)	第3四半期 累計実績	業績見通し (1月31日時点)
売上高	8,500	6,310	8,350
営業利益	410	255	190
税引前当期純利益	370	212	140
当期純利益	200	101	20

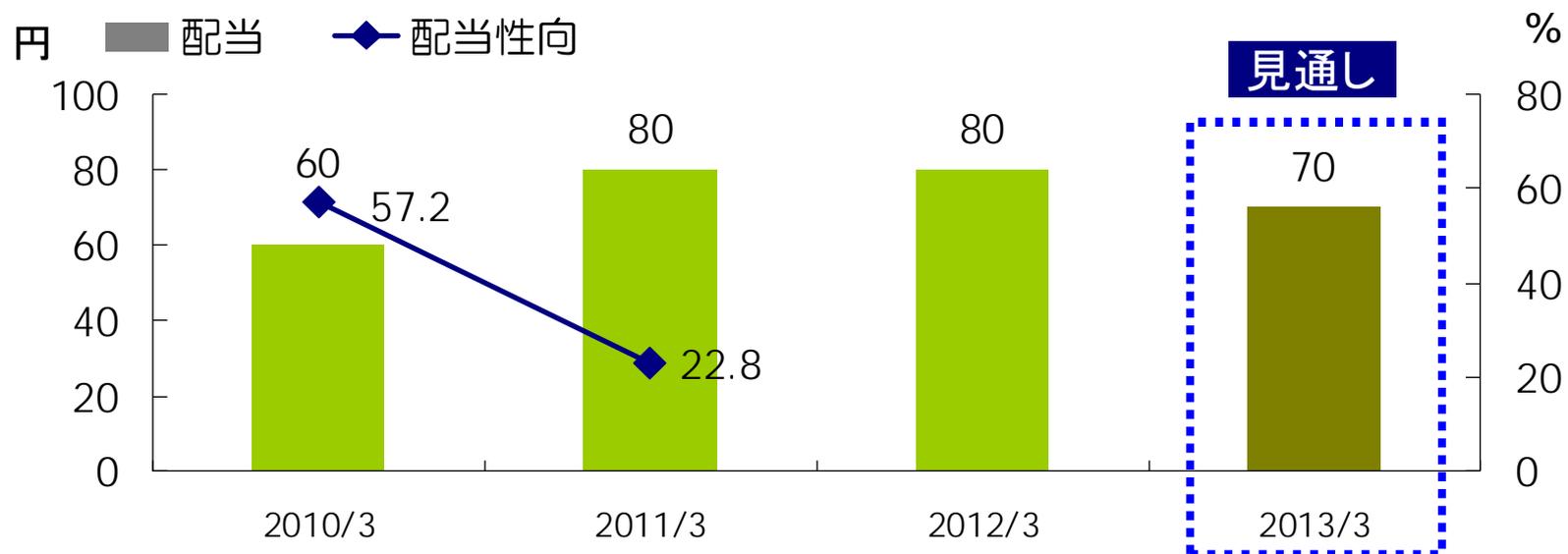
2013年3月期第4四半期の平均為替レート想定

対米ドル：85円（前回想定：77円）

対ユーロ：115円（前回想定：100円）

◆ 1株当たり配当金見通しの修正

中間配当金（実績）	40円
期末配当金（見通し）	30円（前回見通し：40円）
年間配当金（見通し）	70円（前回見通し：80円）



事業ポートフォリオ
見直し推進

- 非中核事業からの撤退

生産拠点最適化

- 国内外拠点の統廃合推進
(統廃合公表済み以外の拠点が対象)

経営の効率化

- 迅速な事業戦略実行体制確立

14年3月期にかけて実施

- 迅速な事業戦略の実行
- 強化すべき中核事業への経営資源集中
- コスト構造の改善

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/3q_1.htm